

合志ブランドの認証を受けた特産品を持つ生産者たち。写真下は認証した特産品に表示する認証マーク＝合志市役所合志庁舎

焼酎や卵、お茶…
16品ブランド認証



ブランド推進協議会

合志の味 売り込め

合志市の特産品づくりを目指す地域ブランド推進協議会(会長・荒木義行市長、20人)は20日、「合志ブランド」の第1号として市特産の焼酎や卵、お茶など16品を認証した。安全・安心や高品質を掲げ、市内外の消費者に売り込む。

優れた特産品を広くアピールすることで、農商業振興や地域イメージの向上につなげる取り組み。昨年4月、市内の農家や消費者、企業、学識者らでつくる協議会を同市が設置。協議会が生産者の申請を受けて審査した。

認証の基準は①味や外観が優れている②生産履歴が準備されている③生産体制が確立している④期間が3年間で更新可。認証品には「合志ブランド」の専用マークを表示して販売する。

今回申請があった約20品のうち、認証品16品は卵を除き、ヨーグルトやカステラ、ごまドレッシングなど加工品。協議会は今後、野菜や果物などの1次産品の認証基準などを検討する。審査・選定は年2回程度の見通し。

協議会では委員らが「他地域との違いをもっと強く打ち出すべきだ」「ブランドが根付くようPRを強化してほしい」と要望。荒木市長は「イメージ戦略を協議会で担って

く」と答えた。同市野々島のユーパレス弁天物産館で1カ月間、特設の展示販売コーナーを設ける。21日からホームページも開設、認証品や生産者を紹介する。

(鎌倉尊信)

ボランティア活動ける県内外の9団体り組みを紹介し、参を募る合同説明会「1ト!2010」が日午後7時から熊本取本町の県民交流館アで開かれる。

不登校児童支援な続ける合志市のNPP人ネクステップ(鳥之代表)主催。多く者に社会貢献活動のや楽しさを伝えよう2008年に始めた

熊本都市圏